



青島の風

青島日本人学校だより
平成31年3月9日
校長 金森 孝子

ともに過ごした日々をいつまでも



卒業生9名で合唱した「大切なもの」(山崎朋子 作詞・作曲)

3月2日(土)は、第15期生として巣立つ9名の児童生徒の卒業式を挙行いたしました。小学部6名、中学部3名の卒業生が卒業証書を受け取り、在校生66名がその姿を見守る「卒業証書授与」、中学部の「送辞」「答辞」小学部の「門出の言葉」、そして在校生、卒業生の「合唱」と続きます。小学部中学部全員が参加する中、一人一人が、今、努力してできる最高の姿を見せていました。式の最後の「校歌」は、涙をこらえて歌う児童生徒の姿に胸が一杯になりました。青島日本人学校の集大成としての卒業式を、このような児童生徒ともにつくりあげられたこと、校長として大変誇りに思います。また、在青島日本国総領事館総領事、中原邦之様はじめ、多くのご来賓の方々にもご参列いただき、温かいお言葉をいただきました。皆様と共に、卒業生の晴れの日を祝い、かけがえのない時間を共有できたこと、本当に嬉しく思います。

本日、平成30年度の最後の日となりました。今日、子どもたちは、改めてこの1年を振り返り、自分の大きな成長に気付くことでしょうか。今後、どの地で学ぼうとも、この青島での学びを生かし、さらに「知恵」「感動・感性」「たくましさ」「思いやり」の4つの力を伸ばし、前を見つめながら、ひたむきに進んでいくことを願っています。

この一年間、大きな事件、事故がなく、教育活動を充実していくことができたのは、学校運営理事会の皆様、PTA役員の皆様、日本人会の皆様、そして、毎日、子どもたちを元気に明るく送り出してくださった保護者の皆様のご理解、ご支援、ご協力があったからこそと、深く感謝申し上げます。

日本人会の皆様、ご支援をいただき、ありがとうございました

平成30年度も、多くの日本人会の皆様方に、ご支援を賜りました。

小学部では、1年生～3年生が、約半年を通じて、サツマイモの苗付けや畑の作物の収穫など、青島イオン様にお世話になりました。無農薬の野菜を育てるご苦労などをお聞きすることができました。その他にも、社会科校外学習として3年が青島イオン東部店様、体験学習として5年生が青島月星鞋業様、新日清制粉食品様、朝日緑源様、総合的な学習の時間として4年生が青島新楽迪食品様、青島愛達高服装様にお世話になり、工場見学や作業体験をさせていただいたりしました。また、出前授業として、5年生が大多福食品様に、学習内容とのつながり深めながら調理実習を指導いただきました。中学部では、新日清制粉食品 董事長 小松宏彦様に「キャリア講演会」として講演をしていただきました。生徒からのリクエストでお招きした小松氏の、生徒たちの将来を見据えたお話に、職員も聞き入りした。

また、カケン様、フランソワ様には職員研修で、ヤマト国際物流様には、交通安全教室で、タキイ種苗様、住商肥料様には、栽培等で、お世話になりました。重岡佐知子様(日鉄住金物産 支店長)には、卒業証書の名入れをお願いし、立派な証書を作成することができました。様々なことで、日本人会の皆様にご支えていただきました。今後も、子どもたちのために、ご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。